

八王子市立第一中学校に理科担当教諭として勤務し、気象教材を生徒にとって身近なものにするにはいかにかすべきかをたえず心がけ、研究および教育実践を行ってきた。

イソプレット図や気象衛星の雲画像の効果的な教育利用法の開発などもその一環として行ってきたが、さらに八王子の局地気象を生徒とともに観測して、身近な気象に生徒の関心を向けさせることに努力し、成果をあげてきた。

約30名の生徒とともに、八王子の各地において気温と風の同時観測を行い、局地気象の研究を行った。観測が単なる学習の域に止まらず、結果が学術研究の上からも価値の高いものになることは、学術の発展のためのみならず生徒に与える影響からも望まれる。そのため、生徒に測定の指導を十分に行い、必要な精度の結果を得ることを目指して観測に当たった。生徒の自宅における測定だけでは量的に不十分なので、名越会員自身、自動車による移動観測を行いデータの完全を期した。

観測の結果、八王子には、盆地の冷氣湖と市街地のヒート・アイランドが同時に存在することが解明された。

本研究は、八王子における盆地のヒート・アイランド現象の解明のほかに、観測やデータの検討に中学生を参加させる手段について工夫を行い、生徒の気象への関心を高めるための教育方法の開発に成功したことの意義が大きい。

名越会員は、この研究を深めるための基礎データが得られるように、気温の高度分布も含むさらに充実した観測を、中学の教育の一環として、本年12月に行う計画をもって、本研究に精力的に取り組んでいる。

生徒と共に研究活動を行うことにより、生徒の気象に関する興味関心を高める指導をされた同会員の教育・研究に対する姿勢は、気象教育が今後目指すべき一つの方向を示している。同会員には、今後も学校気象教育において多大の貢献が期待されるので、本学会はここに奨励金を贈るものである。

## 昭和61年度日本気象学会春季大会の告示

1. 期 日 5月21日(水)～23日(金) (岩崎俊樹)
2. 会 場 気象庁  
(東京都千代田区大手町 1-3-4)  
TEL. 03-212-8341 内線 283
3. 研究発表
  - 1) 講演申込・予稿原稿の締切：3月18日(火)必着  
期限厳守のこと
  - 2) 申込先：東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁  
数値予報課内 講演企画委員会
  - 3) 様式：本号挿入の申込用紙に記入、予稿原稿を添えて申し込むこと。原稿用紙は本誌挿入のものを使用すること。詳細は次頁の講演予稿集原稿の書き方をご覧ください。
  - 4) 講演時間：討論を含め12分程度  
講演時間は事情により短縮されることがあります。
- シンポジウム  
テーマは未定

## 講演企画委員会からのお知らせ

1. 講演数に関する制限の廃止について  
昭和60年の春季及び秋季の気象学会において、同一発表者の同一中項目における申込み件数を1件にしました。この試行の結果では、必ずしも申込み件数は減少しませんでした。また、無理に異なる項目に振り分けた申込みがある等、プログラム編集に支障を来たす例も見られました。このため、昭和61年の春季大会からはこの制限を廃止します。「同一発表者による申込み件数は2件以内」という制限は従来通りです。)ただし、講演数が多く講演時間が十分とれない状況は変わっておりません。同一内容の講演はできるだけ一つの講演にまとめて下さるよう今後とも御協力お願い致します。
2. 希望部門の分類の変更  
積雲対流(廃止)  
大規模現象(廃止)  
熱帯気象→熱帯気象・台風  
雲物理→雲物理・積雲対流